



やまざとの風

～心を込めた「あいさつ」「校歌」輝く「笑顔」～

山里中学校だより

2023.9.4号

文責 小西



令和5年度 2学期始業式

9月1日(金)、令和5年度の2学期がスタートです。本田勇人校長先生は式の中で、次のような言葉を述べられました。

今年の夏休みは、例年にないほどの暑さ、酷暑の夏となりました。毎日のように、熱中症警戒アラートが発令され、屋外での活動が心配される毎日でした。そのような、暑い毎日からでしょうか、今年の夏には、全国的に川や海での事故、水の事故で命を落とすという悲しい事故が多く報道されたように感じました。

そのような、心配な状況もありましたが、本日ここに、山里中学校の全校生徒の皆さんが誰一人として、大きな事件や事故に遭うことなく、無事に2学期の始業式を迎えられたことを、ともに喜びたいと思います。

しかし、一方では、夏休みが終わって、新しい学期、2学期が始まったことで、何となく憂鬱な気分になったり、急に不安な気持ちになったりしている人も少なからずいることと思います。誰でも、長い休みの生活から、学校の毎日の日常生活に慣れていくためには、憂鬱だったり、不安感を抱いたりするものです。そのことは、これから毎日の学校生活を送り、友人や先生方と、お話をしたり、活動を共にしたりすることで、少しずつ落ち着いていくものです。これからの生活の中で、**憂鬱感や不安感などで、心がなかなか軽くない、そのようなときには、身近な友人や家族、先生方へ打ち明けて、心を軽くするようにしてほしい**と思います。

さて、今日から、2学期がスタートします。1学期にお話ししましたが、「After コロナ」の新しい時代に、これまで以上に「山里中学校を前へ、力強く前進させていきましょう。」とお願いをしました。そして、より良きもの、より質の高いものを求めながら、「自分たちの思いを形にして表現することができる。」そのような素晴らしい皆さんの活動でしたという話をさせていただきました。

私から、この2学期にお願いしたいことは、1学期に引き続き「より高みを目指し、皆さんの思いを、形にして表現する」こと、そのような活動を、ぜひ続けていってほしいということです。

先日には、爆心地公園の千羽鶴が燃えてしまったことを受けて、全校生徒で、4000羽の鶴を折り、千羽鶴にしたものを、鈴木長崎市長さんへ生徒会役員の皆さんで、直接、お渡しする機会がありました。市長さんからは、燃えてしまったことを大変悲しく思っていたけれども、皆さんのこのような自主的な取組を聞いて、本当に救われました。ということばをいただきました。

「思いを形にして表現する。」まさに、このことが、実践された素晴らしい取組だと思えます。

この2学期には、合唱コンクールという**「皆さんの思いを合唱という形で表現する」**大きな行事があります。そして、3年生はいよいよ、将来への思いを**「形にする」**、実現するための、希望進路の実現に向けての取組も本格化します。また、1、2年生の皆さんは、3年生の「思い」を受け継ぎながら、それぞれが毎日の生活を通して、中堅学年あるいは最上級生としての準備を進めていく、**「その姿を示していく」**、そのような大事な2学期となります。まさに、「思いを形にして表現する」取組となります。

そのような皆さんに期待したいのは、やはり、**「より良きもの、より質の高いものを求めていこうとすること」**そして、**「お互いに心を通わせ合う」**ということです。そのことが、「皆さんの思いを形として表現するためには大切なこと」と思っています。」そして、そのような取組の積み重ねが、新しい時代に「山里中学校を前へ、力強く前進させていくこと」になると思っています。

2学期も、皆さんと共に、「山里中学校を前に、力強く前に前進させていきましょう。」

2学期もどうぞよろしくお祈りします。

令和5年9月1日

長崎市立山里中学校長 本田 勇人



学年代表の言葉 ※3人とも素晴らしい発表でした！！

1年生：廣渡 そら さん

2学期に頑張りたいこと、

- ①勉強（1学期を反省し、毎日、自主学習をする。）
- ②あいさつ（今学期は率先して「山中あいさつ」をする。
学校内だけでなく、地域でも心掛ける。）
- ③団結力のある学級をつくる
（合唱コンクールでは体育大会の時よりも成長した姿を見せたい。）



2年生：川野 博之 さん

今学期、自分自身の目標として掲げ挑戦したいこと、

- ①家庭学習を充実させ、平日でも帰宅後に一時間半勉強する。
- ②提出物を早く仕上げ、余裕をもって期限の二日前までに提出する。
- ③学級委員に立候補する。また学級目標「たいよう」の達成を目指す。
- ④合唱コンクールでは伴奏者としてみんなの歌声を引き出す。



3年生：大宅 幸介 さん

1学期、学級委員として感じた課題は2分前着席。日常のどんな小さな行為でも自ら考え、判断し、責任を持たなければならないことを実感した。私たち3年生は進路実現という大きな目標に向かって努力を続けていく。自分自身の弱さに勝ち、目標に向けて計画的に実行していくことが肝要。2学期は合唱コンクールもある。成長した姿で受験に臨みたい。



ラッケル先生（担当：英語科）とダニエル先生（ALT）の紹介

～山里中学校に新しい英語科の教師が加わり、新しい体制になります。お二人を紹介します。～



← ○名 前：ラッケル スマゲ バルダッサ 先生
○出身国：フィリピン ○趣味：音楽鑑賞
○山里中学生徒へ一言：楽しんで英語を学びましょう！
みんなに会えるのを楽しみにしていました！
※ラッケル先生は18年間、長崎市内の学校でのALTとして、そして長崎大学での英語指導者としての経験があり、とてもコミュニケーション力の高い先生です。



○名 前：ダニエル ピーター ホワイト 先生 →
○出身国：南アフリカ共和国
○趣味：スポーツをしたり、観たりすること。
○山里中学生徒へ一言：一緒に英語を学習してくことを楽しみにしています。間違いを恐れなくてください。



【2学期始業式（リモート）の様子です。】